

省エネルギー運転（エコドライブ）研修の実施

平成17年2月16日に発効した京都議定書に基づく我が国のCO2排出削減目標達成に向けては、運輸部門全体からの排出量抑制について更なる努力を要する状況にあり、その一つの施策として、政府は、省エネ法（「エネルギー使用の合理化等に関する法律」）を改正、平成18年4月から施行し、運輸分野等の省エネ対策の一層の強化が図られました。

更に、2015年の「約束草案」やCOP21パリ協定等を踏まえ、2016年5月に地球温暖化対策計画を閣議決定し、2030年度の削減目標の達成に向けて着実に取り組むこととしており、運輸分野等においてもより一層の省エネに対する取り組みの推進が求められています。

このため、公営バス事業においても率先して省エネルギー対策に取り組むとともに、現下の厳しい経営状況に鑑み、職員に対してもコスト意識を持たせ、その効率化に対する意識改革を図ることを目的として、当該研修を平成18年度から実施し、今年で13回目となる研修を以下のとおり実施しました。

【研修概要】

1. 日 時 平成30年6月7日(木)13時～8日(金)13時
2. 場 所 クレフィール湖東 交通安全研修所（滋賀県東近江市）
3. 研修日程 （別紙「省エネ運転研修 時間割」参照）
4. 参加都市 東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、高槻市、伊丹市、神戸市、
松江市、長崎県、鹿児島市 計11都市
5. 参加者数 31名
6. 参加者の感想

今回の研修のアンケートでは、いくらか参考になったという人を含め、全員が参考になったと回答。また、この研修の成果を何らかの形で職場で実践したいとほとんどの人が回答されました。

なお、主な感想としては以下のとおりでした。

- (1) 職場で今までもエコドライブ研修がありエコドライブに取り組んできたつもりだったが、今回の診断データを見ると「通常走行」「省燃費走行」ともに平均を下回っていたので、これからもエコドライブに取り組んでいく励みになった。
- (2) 省エネ運転により、早めのシフトアップ、早めのアクセルオフにより、データからいかに燃料の削減につながったかが良く理解できた。
- (3) エコドライブの基本をしっかりと教えていただき、これからの乗務でできることは実践していこうと思いました。また、運転と反応で、目で見ってから行動に移すまでの反応の時間が結構あるのに驚きました。
- (4) バスの運転士の心理状態によって事故につながるということが理解できました。焦りとか

怒りをどれだけ抑えることができるか、プロドライバーとして意識していかなければと感じました。

(5) ドラレコを活用したKYTは、2例ともに自分が予想できないことが起こり、貴重な受講となりました。

(6) 先入観、偏見、思い込みに支配されてしまうことに改めて気付かされたし、こういう危険があるだろうと思いこむことで、他の危険が想像できなくなってしまう怖さに気付かされた。

(7) ミスをすることを前提に対策を取ることが大事だということを、職場でも意識共有を図っていきたいと思います。

(8) 他都市の方と様々な意見交換ができて大変良かった。

【省エネ運転の実技】



インストラクターから省エネ運転の実技指導を受けている様子



インストラクターからバス・乗用車の運転席から見た死角についての説明の様子